



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月6日

上場会社名 ネットン(高周波熱錬株式会社) 上場取引所 東
 コード番号 5976 URL <http://www.k-neturen.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 溝口 茂
 問合せ先責任者(役職名) 管理本部経理部長(氏名) 青井 隆明 (TEL) 03-3443-5441
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	35,096	16.3	2,421	48.6	2,858	40.8	2,010	33.2
29年3月期第3四半期	30,172	△4.9	1,629	25.4	2,030	14.5	1,509	34.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 3,568百万円(—%) 29年3月期第3四半期 △667百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	48.58	—
29年3月期第3四半期	35.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	79,739	65,049	73.8
29年3月期	76,230	63,319	75.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 58,845百万円 29年3月期 57,536百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.00	—	18.00	25.00
30年3月期	—	11.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期期末配当18円には、設立70周年記念配当4円が含まれております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	6.0	3,400	13.2	4,000	11.4	3,000	5.8	72.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期3Q	43,790,500株	29年3月期	43,790,500株
30年3月期3Q	2,782,858株	29年3月期	2,146,486株
30年3月期3Q	41,389,437株	29年3月期3Q	42,523,613株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

当資料に記載の将来に関する予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全体的には緩やかな回復基調で推移いたしました。また、世界経済は、米国や欧州においては比較的堅調に推移しており、中国においても建機需要に繋がるインフラ投資や、工作機械及び産業機械の設備投資に繋がるスマートフォン需要の拡大など持ち直しの傾向が見られました。

このような状況のもと、当社グループは、第13次中期経営計画「Global Innovation 70th」に掲げた成長戦略である積極的な海外事業展開と、「経営」「技術」「生産」「機能」「人づくり」における革新に取り組むことにより、経営体質の強化、企業価値のさらなる向上を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は35,096百万円(前年同期比16.3%増)、営業利益は2,421百万円(前年同期比48.6%増)、経常利益は2,858百万円(前年同期比40.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,010百万円(前年同期比33.2%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 製品事業部関連事業

土木・建築関連製品の売上高は、既製杭の需要量の減退及び当社の製品が多く使用されるマンション等の着工件数の伸び悩みなどにより、前年同期と比較し減少いたしました。一方、高強度ばね鋼線(I T W)の売上高は、国内及び海外での販売が堅調に推移したことにより、前年同期と比較し増加いたしました。

この結果、売上高は15,601百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益は1,107百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

② I H事業部関連事業

熱処理受託加工関連の売上高は、自動車向けや工作機械向けの受注が堅調に推移したことにより、前年同期と比較し増加いたしました。また、自動車部品関連の売上高は、前年同期並みの売上を確保できました。

建設機械部品関連の売上高は、国内、中国ともに受注状況が堅調に推移していることにより、前年同期と比較し増加いたしました。また、誘導加熱装置関連の売上高は、国内や中国での販売が伸びたことにより、前年同期と比較し増加いたしました。

この結果、売上高は19,400百万円(前年同期比24.1%増)、営業利益は1,270百万円(前年同期比137.5%増)となりました。

③ その他

当該セグメントは、報告セグメントに含まれない不動産賃貸事業等であります。

当社保有の賃貸物件については、小規模ではありますが安定的に業績に寄与しております。

この結果、売上高は94百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は43百万円(前年同期比0.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は79,739百万円(前連結会計年度末比4.6%増)となりました。この主な要因は、現金及び預金が減少したものの、有形固定資産及びのれんが増加したことなどによりです。

当第3四半期連結会計期間末における負債は14,689百万円(前連結会計年度末比13.8%増)となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金や電子記録債務が増加したことなどによりです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は65,049百万円(前連結会計年度末比2.7%増)となりました。この主な要因は、自己株式の取得による減少と、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加があったことなどによりです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は73.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、「平成29年3月期 決算短信」(平成29年5月11日)公表時点から修正は行っておりません。

なお、予測数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおりません。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,313	11,484
受取手形及び売掛金	11,464	11,484
電子記録債権	3,384	3,940
商品及び製品	782	849
仕掛品	1,199	2,185
原材料及び貯蔵品	1,707	1,953
その他	1,595	1,962
貸倒引当金	△14	△16
流動資産合計	34,433	33,845
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,421	8,633
機械装置及び運搬具（純額）	8,997	10,053
土地	9,811	9,931
建設仮勘定	1,130	1,585
その他（純額）	277	305
有形固定資産合計	28,639	30,509
無形固定資産		
借地権	832	821
のれん	—	1,226
その他	157	153
無形固定資産合計	989	2,201
投資その他の資産		
投資有価証券	11,819	12,479
長期貸付金	42	41
退職給付に係る資産	—	102
その他	414	668
貸倒引当金	△109	△110
投資その他の資産合計	12,167	13,182
固定資産合計	41,796	45,894
資産合計	76,230	79,739

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,403	2,743
電子記録債務	3,841	5,222
短期借入金	1,444	1,329
未払法人税等	373	541
賞与引当金	646	383
その他	2,044	2,274
流動負債合計	10,753	12,495
固定負債		
長期借入金	212	48
退職給付に係る負債	924	874
その他	1,019	1,272
固定負債合計	2,157	2,194
負債合計	12,911	14,689
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,418	6,418
資本剰余金	4,763	4,758
利益剰余金	46,718	47,528
自己株式	△1,777	△2,461
株主資本合計	56,121	56,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,270	2,061
為替換算調整勘定	283	609
退職給付に係る調整累計額	△138	△68
その他の包括利益累計額合計	1,415	2,602
非支配株主持分	5,782	6,203
純資産合計	63,319	65,049
負債純資産合計	76,230	79,739

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	30,172	35,096
売上原価	23,065	27,084
売上総利益	7,107	8,011
販売費及び一般管理費	5,477	5,590
営業利益	1,629	2,421
営業外収益		
受取利息	23	36
受取配当金	128	147
持分法による投資利益	175	114
為替差益	—	10
その他	180	161
営業外収益合計	508	470
営業外費用		
支払利息	30	26
為替差損	66	—
その他	9	6
営業外費用合計	107	33
経常利益	2,030	2,858
特別利益		
段階取得に係る差益	—	1,221
有形固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	261
負ののれん発生益	2	—
補助金収入	1	7
その他	—	22
特別利益合計	4	1,513
特別損失		
有形固定資産売却損	0	0
有形固定資産除却損	12	29
減損損失	—	1,134
投資有価証券評価損	0	—
段階取得に係る差損	28	—
特別損失合計	41	1,165
税金等調整前四半期純利益	1,993	3,205
法人税等	363	866
四半期純利益	1,630	2,339
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,509	2,010
非支配株主に帰属する四半期純利益	120	328

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	912	788
為替換算調整勘定	△2,738	287
退職給付に係る調整額	△15	69
持分法適用会社に対する持分相当額	△455	83
その他の包括利益合計	△2,297	1,229
四半期包括利益	△667	3,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117	3,197
非支配株主に係る四半期包括利益	△784	371

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年9月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が683百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が2,461百万円となりました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	製品事業部 関連事業	I H事業部 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,447	15,632	30,079	92	30,172
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	13	13	—	13
計	14,447	15,646	30,093	92	30,186
セグメント利益	1,051	535	1,586	43	1,629

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,586
「その他」の区分の利益	43
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,629

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	製品事業部 関連事業	I H事業部 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,601	19,400	35,001	94	35,096
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3	3	—	3
計	15,601	19,403	35,004	94	35,099
セグメント利益	1,107	1,270	2,377	43	2,421

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,377
「その他」の区分の利益	43
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	2,421

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。